



「大麻って何？」

しもじ内科クリニック院長

下地 栄壮



最近、若者による大麻使用の問題がマスコミに取り上げられています。そもそも大麻って何でしょう？私も良く分からないので調べてみました。

大麻とは、大麻草から作られる薬物です。大麻草は、アサ科の一年草で茎から丈夫な繊維が取れるので、昔から栽培・利用されてきました。一方で大麻草の花や葉には、THC（テトラヒドロカンナビノール）やCBD（カンナビジオール）などの化学物質が含まれており、THCは精神活性作用をもたらし、CBDは抗炎症・抗不安・抗精神病などの効果があるとされています。ちなみに、マリファナは大麻と同じもので、製法によって呼び名が違い、大麻草の乾燥した花・茎・葉・種子から作られるものをマリファナといいます。

大麻には、鎮痛・鎮静・催眠・食欲増進・抗がん・眼圧低下・嘔吐抑制などの作用があるため、医療目的などで合法化されてい



る国もあります。カナダやウルグアイでは、医療・嗜好目的で大麻が合法です。また、米国・オランダ・イギリス・スペイン・ポルトガル・ベルギー・オーストリア・フィンランド・韓国などは州など一部の区域で、医療目的などで合法化されています。そのため、日本でも医療用大麻について議論されているようです。

しかし、大麻の乱用には様々な健康被害があり、心拍数増加・食欲亢進・口の渇き・現実感が薄れる・魂が体から離れるような離人体験・記憶障害・協調運動能力の低下・反射神経が鈍くなるなどがあります。また、乱用を続けることにより、無動機症候群(むどうきしょうこうぐん)を引き起こし、社会生活に適応できなくなります。無動機症候群とは、薬物乱用などによる精神障害の一つで、物事に対する興味・関心が薄れ、自発的な活動・思考の消失、注意力・集中力の低下、無気力、疲れやすいなどの抑鬱状態を示します。また、情動異常や衝動異常を示すこともあります。大麻摂取による大麻精神病の一つとされ、摂取をやめた後も症状が持続することが多いと言われています。

さらに、大麻は“ゲートウェイドラッグ”と言われており、コカイン・ヘロイン・覚せい剤など他の薬物乱用の“入口”とも言われています。大麻の有害性は、特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことが分かっていますので、インターネットの情報などで安易に使用することはしないで下さい。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦3丁目2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL:092-605-6300